



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 タキロン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3909

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	52,880	2.9	4,256	14.8	4,327	11.3	2,556	△9.5
25年3月期第3四半期	51,380	△0.6	3,709	5.3	3,889	7.6	2,823	95.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,845百万円 (1.3%) 25年3月期第3四半期 2,809百万円 (120.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	35.67	—
25年3月期第3四半期	39.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	81,254	46,835	56.8	643.72
25年3月期	77,977	44,889	56.7	616.38

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 46,132百万円 25年3月期 44,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	4.00	—	7.00	11.00
26年3月期	—	5.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.50	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	73,000	7.7	5,700	20.9	5,500	13.9	3,000	△11.7	41.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	78,698,816 株	25年3月期	78,698,816 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	7,033,761 株	25年3月期	7,025,045 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	71,669,873 株	25年3月期3Q	71,676,846 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策、東京オリンピック開催の決定などを背景に、円安傾向の継続に伴う輸出環境の改善や株価の上昇、企業の生産活動の緩やかな拡大、個人消費の持ち直しなど、景気が回復基調で推移しました。また、一部には平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も見られました。

一方で、原材料価格が高水準で推移していることや欧州経済の低迷・新興国の経済成長鈍化などの海外景気の下振れが懸念材料となっており、不透明な経営環境が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は528億8千万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は42億5千6百万円（前年同四半期比14.8%増）、経常利益は43億2千7百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。なお四半期純利益は25億5千6百万円、前期は退職給付制度改定益（特別利益）9億2千7百万円を計上していたため、前年同四半期比9.5%減となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住設資材部門は、戸建住宅の新設住宅着工戸数が前年同期比増加傾向にあったことから、「排水ます」や「小口径マス」等の管工機材、サイホン雨どいシステムの「ジェットライン」や内装材等の住宅資材が堅調に推移し、売上は前年同四半期を上回りました。

採光建材部門は、ポリカーボネート製平板および加工品が引続き住宅関連、商業施設、生産施設等への自然採光を活用した省エネ用途を中心に順調に売上を伸ばしましたが、波板関連は突風被害による特需のあった前年に比べ売上が減少したため、全体の売上は前年同四半期を下回りました。

環境・土木部門は、公共事業の増加に伴い、物件への納入が進んだことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル資材）において政令指定都市の受注済物件の材料納入が順調に進んだことと、上下水道分野での物件の受注が好調に推移したことから、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、住環境事業の売上高は280億8千1百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。なお営業利益は18億2千1百万円、前期は波板関連の特需による設備稼働率の大幅な上昇という特殊要因があったため、前年同四半期比22.4%減となりました。

床事業

床事業はマンション改修の繁忙期である第3四半期における「タキストロン」・「タキステップ」の販売が好調に推移し、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、床事業の売上高は82億3百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は22億1百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、第1四半期から世界的な半導体・液晶関連における設備投資が回復基調に推移したことや円安の影響により、海外の大型案件を獲得し、工業用プレートと切削用材料が好調でした。第3四半期はディスプレイ需要の回復からPETプレートや店装用材料も上向き、売上は前年同四半期を上回りました。

ポリカプレート部門は、一般産業機械カバー用途を中心とした汎用品が伸び悩みましたが、半導体関連用途の高機能品や光学品が順調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

その他に、サイン分野は大型物件の減少、タンク分野は国内の設備投資需要が減少傾向にあったことから、各分野で前年同四半期を下回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は150億1千5百万円（前年同四半期比5.4%増）、なおプレート部門のコスト構造の見直しもあり、営業利益は2億8千8百万円（前年同四半期は4億5千1百万円の営業損失）となりました。

メディカル事業

骨接合材料部門は、整形外科分野を中心とする「スーパーフィクソープ」の販売が順調に推移し、また頭蓋顎顔面外科分野の「スーパーフィクソープMX」については国内向けが前年同四半期を下回ったものの、海外向けは引き続き好調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、メディカル事業の売上高は15億7千9百万円（前年同四半期比7.1%増）となり、骨接合材料部門は黒字化しましたが、導電性粘着材部門は開発費用等が大幅に増加したことから、営業損失は5千5百万円（前年同四半期は2億3千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より32億7千7百万円増加し、812億5千4百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことにより、流動資産が33億8千4百万円増加したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より13億3千1百万円増加し、344億1千9百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が増加したことにより、流動負債が13億1千7百万円増加したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より19億4千5百万円増加し、468億3千5百万円となりました。自己資本比率は、56.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,111	11,354
受取手形及び売掛金	24,958	26,487
有価証券	9	—
商品及び製品	6,349	6,763
仕掛品	2,272	2,340
原材料及び貯蔵品	1,594	1,764
繰延税金資産	800	818
その他	1,005	832
貸倒引当金	△168	△41
流動資産合計	46,935	50,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,854	7,618
機械装置及び運搬具(純額)	4,215	4,334
土地	10,065	9,902
建設仮勘定	176	369
その他(純額)	922	997
有形固定資産合計	23,233	23,221
無形固定資産		
のれん	170	113
その他	398	495
無形固定資産合計	568	608
投資その他の資産		
投資有価証券	3,426	3,524
繰延税金資産	2,805	2,675
その他	1,156	1,043
貸倒引当金	△149	△139
投資その他の資産合計	7,239	7,104
固定資産合計	31,041	30,934
資産合計	77,977	81,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,717	14,062
短期借入金	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	1,224	1,046
賞与引当金	938	372
その他	2,970	3,686
流動負債合計	21,351	22,668
固定負債		
長期借入金	500	500
繰延税金負債	862	856
退職給付引当金	8,969	9,012
役員退職慰労引当金	189	6
資産除去債務	203	204
その他	1,012	1,170
固定負債合計	11,735	11,750
負債合計	33,087	34,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	15,767	17,427
自己株式	△2,013	△2,016
株主資本合計	43,610	45,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	906
為替換算調整勘定	△62	△41
その他の包括利益累計額合計	567	865
少数株主持分	711	702
純資産合計	44,889	46,835
負債純資産合計	77,977	81,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	51,380	52,880
売上原価	34,021	34,865
売上総利益	17,358	18,014
販売費及び一般管理費	13,649	13,758
営業利益	3,709	4,256
営業外収益		
受取配当金	81	85
その他	202	146
営業外収益合計	283	231
営業外費用		
支払利息	49	45
売上割引	39	41
支払補償費	—	30
その他	14	43
営業外費用合計	103	160
経常利益	3,889	4,327
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	17	278
退職給付制度改定益	927	—
特別利益合計	944	280
特別損失		
固定資産処分損	26	25
投資有価証券売却損	33	8
減損損失	—	192
特別損失合計	60	226
税金等調整前四半期純利益	4,773	4,381
法人税等	1,952	1,844
少数株主損益調整前四半期純利益	2,821	2,537
少数株主損失(△)	△2	△19
四半期純利益	2,823	2,556

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,821	2,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	281
為替換算調整勘定	△0	21
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4
その他の包括利益合計	△11	307
四半期包括利益	2,809	2,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,812	2,854
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,819	7,836	14,249	1,475	51,380	—	51,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	9	40	—	76	(76)	—
計	27,845	7,845	14,290	1,475	51,456	(76)	51,380
セグメント利益 又は損失(△)	2,347	2,048	△451	△236	3,709	—	3,709

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,081	8,203	15,015	1,579	52,880	—	52,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	7	16	—	41	(41)	—
計	28,099	8,210	15,032	1,579	52,922	(41)	52,880
セグメント利益 又は損失(△)	1,821	2,201	288	△55	4,256	—	4,256

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。